熊取町議会委員会会議録

環境施設広域化調査特別委員会

令 和 7 年 3 月 12 日開催

熊　取　町　議　会

目　　次

〔環境施設広域化調査特別委員会〕
ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について …… 1

環境施設広域化調査特別委員会

月　　日	令和７年３月12日（水曜）招集			
場　　所	熊取町役場議場			
出席委員	委員長	文野慎治	副委員長	二見裕子
	委員	長田健太郎	委員	坂上昌史
	委員	大林隆昭	委員	坂上巳生男
	委員	田中圭介	議長	河合弘樹
欠席委員	なし			
説明員	町長	藤原敏司	副町長	南　和仁
	総合政策部長	田中耕二	総務部長	永橋広幸
	住民部長	木村直義	住民部理事	山本浩義
	環境センター所長	中川昌美		
事務局	議会事務局長	東野秀毅	書記	阪上高寛

案　　件

１）ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について

委員長（文野慎治君）皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めております。

ただいまの出席委員は７名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから環境施設広域化調査特別委員会を開会いたします。

（「15時00分」開会）

委員長（文野慎治君）発言される方は、挙手の上、指名された後、起立し、マイクの赤いランプが点灯した後に発言していただきますようお願いいたします。

本日の案件は、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件１件であります。

それでは、案件１、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件について説明願います。中川環境センター所長。

環境センター所長（中川昌美君）それでは、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定などについて説明させていただきます。

まず、１、令和６年度実施委託業務及び進捗状況についてでございます。

１つ目の二重丸、新ごみ処理施設整備事業に係る施設整備基本設計策定及び環境影響評価等業務でございます。契約業者は株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間は令和３年７月５日から令和７年３月28日まで、４年契約の最終年度となっております。契約金額は３億7,408万5,800円、変更契約による増額分も含んでおります。本年度の支払い予定額は4,420万4,800円です。進捗状況といたしましては、泉佐野市田尻町清掃施設組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書に対する環境の保全見地からの意見を踏まえた環境影響評価評価書を大阪府へ提出した後、年度内に告示される見込みとなっています。

２つ目の二重丸、新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価事後調査業務でございます。契約業者は株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間は令和６年５月20日から令和17年３月28日まで、

12年契約の初年度に当たります。契約金額は4,216万800円、本年度の支払い予定額は359万9,000円です。進捗状況といたしましては、ごみ処理施設整備により実施した環境影響評価準備書の結果を踏まえまして、生態系に異変がないかの確認調査を行われています。

３つ目の二重丸、新ごみ処理施設建設に係る都市計画決定支援業務委託でございます。業者名は株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間は令和６年８月28日から令和８年３月25日まで、２年契約の初年度に当たります。契約金額は535万2,600円、本年度の支払い予定額は240万8,000円です。進捗状況といたしましては、新ごみ処理施設整備用地に係る図面などの資料作成を行い、大阪府との協議が進められます。

この協議が進められている新ごみ処理施設の整備用地について、資料を使って説明させていただきます。

資料３ページをご覧ください。

この資料は、泉佐野丘陵地区の区画整備事業の件、土地利用計画案で、位置的には泉佐野市の上之郷土丸、日根野地区に当たります。この図の下側を一直線に貫いている大きな道路、これは阪和自動車道です。左側を下から上に延びているのが上之郷インターチェンジと関西国際空港線です。この造成される用地の中で青い点線で囲まれているエリアがあり、そのエリアの中央部に用地Ｂと記載されているところがあります。ここが新ごみ処理施設の建設が予定されている場所になります。この建設が予定されている用地は、法面も含めまして広さが5.5ヘクタールという予定になっております。

それでは、資料１ページにお戻りください。

次は、２、令和６年度本町負担金についてでございます。これは次の①と②の合計金額でございまして、①の委託費922万7,000円は、ａの委託業務支払い予定額5,021万2,000円から交付金額332万5,000円を差し引いた金額4,688万7,000円にｂの熊取町負担率19.68％を掛けた結果になっています。次の②の報酬及び事務経費の100万円は、ｃの報酬及び旅費60万7,000円とｄの事務経費239万4,000円を合計した金額を構成３市町で均等割したものとなっております。

続きまして、２ページをご覧ください。

３、新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会についてでございます。第４回は10月に開催され、ここでは要求水準書（案）の承認と運営事業方針（案）、入札方式の基本方針（案）、入札説明書（案）について説明が行われました。次の第５回委員会は３月17日に開催される予定でございます。

続きまして、４、ごみ処理広域連携検討会についてでございます。本年度は第38回から42回まで５回開催されております。第38回、39回は新ごみ処理施設に係る整備費についての協議、第40回、41回は施設規模の変更及び施設整備スケジュールの計画確認、第42回は施設整備費アンケート結果及び区画整理事業の進捗状況の報告があり、それに係る議論が行われました。

続きまして、５、ごみ処理広域連携検討会担当者会議についてでございます。本年度は第26回から30回まで５回開催されております。内容といたしましては、ごみ処理手数料取扱いの統一に向けた協議や要求水準書（案）の意見聴取、搬入者の運転免許証確認後の搬入件数の変化についての意見交換が行われました。

続きまして、６、地元説明会についてでございます。本年度は５回開催されており、主に環境影響評価準備書の説明が行われています。

続きまして、７、新ごみ処理施設の施設整備費についてでございます。泉佐野市田尻町清掃施設組合から、令和６年２月に新ごみ処理施設整備の概算費用として約610億円から690億円が示されました。その後、行政改革に取り組んでいる熊取町をはじめ構成市町としては、施設整備費が高額であるため費用削減の検討が必要であるとの意見を組合側に出し、施設規模の変更など計画の一部が見直せることで、現時点におきましては、組合より精査が必要なものの、当該整備費用が削減される見込みであることが示されている状況であります。

最後に、８、今後の予定でございます。次年度につきましては、①の12年契約の２年目となる環

境影響事後評価業務と②の２年契約の最終年度となる都市計画決定支援業務、そして③新ごみ処理施設建設に係る計画支援業務の発注を予定しております。なお、③の計画支援業務は、施設の入札などに係る発注支援に関する業務となっています。次年度以降としましては、④地元対策などの経費に関する負担割合の検討などを予定しています。次に、⑤の施設整備スケジュールについてです。令和７年度から令和10年度にかけまして区画整備事業の造成工事が行われまして、令和８年度には新ごみ処理施設整備事業者の公募、決定、令和９年度から令和13年度にかけまして施設整備工事が進められ、令和14年度に新施設の稼働開始を予定しております。

以上で説明を終わります。

委員長（文野慎治君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。二見副委員長。

委員（二見裕子君）新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価事後調査業務というのが令和６年５月20日から令和17年３月28日まで12年契約の初年度として今回上がっているんですが、これは12年契約というところで、この後もずっと、この内容を見ましたら生態系に異常がないかの調査というふうに載っているんですけれども、これは、12年終わった後もまたずっとこの調査というのはあるんでしょうか。それと、環境影響調査評価準備書というのがどういうものなのか、少し教えていただけたらと思うんですが、よろしくお願いします。

委員長（文野慎治君）中川環境センター所長。

環境センター所長（中川昌美君）まず、事後評価の件に関しまして、12年後につきましてはもうここで終わっております。また生態系に関しましては、ここ直近、用地を今造っておりませんのでいましばらくは続くと。工事が始まったときには工事の調査、運転が始まったらその運転のときの調査という形にフェーズが変わっていくことになっていきます。また、環境影響評価準備書につきましては、今、環境評価方法で検査、調査しましたことを全て皆さんにフィードバックして、こういうような問題があるとか影響について説明をすると。この影響が大きいところは環境保全措置とかがありまして、今回、追加部分で金額が上がっていますということで、環境保全を行って生態系の保護などを行ったものであります。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。坂上巳生男委員。

委員（坂上巳生男君）先ほどのご説明の中で、昨年の同じ時期の委員会でもご報告があったかと思うんですが、概算費用として、施設整備費ですけれども約610億円から690億円が示されたということで、非常に費用が大きいので費用削減の検討が必要であるという意見を出して、施設規模の変更など計画の一部が見直されたことで、現時点においては、組合より精査が必要なものの当該整備費用が削減される見込みであるというふうに示されているということなんですが、これはこれで間違いないんですか。念のためもう一度。

委員長（文野慎治君）中川環境センター所長。

環境センター所長（中川昌美君）おっしゃるとおりです。施設規模を240トンから210トンに落とすということも進められまして、今精査中でございます。

委員長（文野慎治君）坂上巳生男委員。

委員（坂上巳生男君）どれぐらいの金額が削減されるかということは、現時点ではまだ分からないと。

委員長（文野慎治君）山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君）内部ではいろいろ数字というのは上がってくるんですけれども、まだ正式なものということで熊取町は受け取っていないので、この時点では正確な金額というのを提示することができませんが、ただ、先ほど所長のほうが言うたように、施設規模を縮小したり、また建設事業の内容を設計変更、設計見直しを行ったりして削減の方向に、これは確実に削減する方向に調整をやっているということは今の時点では確実に言えることなので、そこをご理解いただければと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。大林委員。

委員（大林隆昭君）仮にこの600億になったとして、国からどれぐらいのお金が出てくるのかというのと、昨年の資料の中に入っているんですが、旧ごみ処理施設除却費、１個建てて１個潰すという分は出るというのは聞いているんですが、熊取分のものはどうこれからどうなっていくのかというのを教えてください。

委員長（文野慎治君）山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君）交付金につきましては、基本的に建築費というのがまだ確定していないのではっきりしたことは言えませんけれども、３分の１が原則あるかなというふうに思っております。ただ、事業の内容によっては３分の１も出なかったりと、建設の中にもいろいろ炉のこともあったり、あと建築事業もあったり土木事業もあったりといろんな工事がありますので、その中の基本的には３分の１ですけれども、内容によっては若干違ってくるかなというふうに考えております。

　あと、廃止された後の償却なんですけれども、議員方々に国のほうにも要望等々行っていただいたりした経緯がございますけれども、現時点では大分緩和されてきております。当初は１個建てるのに１箇所しか償却費用が出ませんよというようなことがあったんで、基本的には今の組合の事業所ということが想定されるところでございますけれども、ただ、その後の活用方法もまだ決まっておりませんし、はっきりしたことは言えませんけれども、大分緩和されている中で償却費用を少しでも獲得できるように今工夫しながら調整をやっているというところで、確実にいけますとも今では言えませんけれども、そこの方向に向かって調整しているというところでご理解いただければと思います。

委員長（文野慎治君）大林委員。

委員（大林隆昭君）こっちのごみ処理施設は使わなくなるので、そのあたりはしっかりやっていただきたいなというふうに思います。あと、600億円やとして、３分の１国から出たとして、残りの分をどういうふうに分けるんかという話もいろいろとそれは水面下ではやっているんやと思いますが、どういうふうな分け方になっていくのかなと。ここに出ているような均等割とか年間の運ぶごみの量とかのものでいろんな決め方をするんだと思いますが、そのあたり、最終的に決定していくのは今年度中なんでしょうか。

委員長（文野慎治君）中川環境センター所長。

環境センター所長（中川昌美君）建設費用につきましては、２の①の下に書かれています均等割が15％、残りの85％は計画搬入量割ということで今協議が進んでおります。

委員長（文野慎治君）山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君）建設費用の負担割合につきましては、現時点で均等割が５％・５％・５％で15％になりまして、あとの85％を搬入量割という形になります。ここにも示させていただいておりますように、トータルで大体20％弱になるのかなというふうに試算をやっております。

　以上です。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。田中圭介委員。

委員（田中圭介君）先ほど、解体部分のほうでちょっと緩和されてきたというふうな話があります。一般質問でも言わせていただきましたけれども、遊休施設の利活用になるのかどうかはちょっと分からないんですけれども、もう14年には新しくなるという方向でいっているので、そろそろどういうふうにするか、計画はぼちぼち立てておいていただきたいなと思います。

　あと、５番のごみ処理広域連携検討委員会ですか、26回から30回までの間でごみ処理施設の手数料取扱いの統一とあるんですけれども、この手数料というのはどういうことか教えてくれますか。

委員長（文野慎治君）中川環境センター所長。

環境センター所長（中川昌美君）現在、環境センターと組合では、減免などそういったサービス類が違うことが多々あります。一緒になる場合はこれらを統一しないと進みませんので、これについて行政で見ながら一緒にしていく協議をただいま進めているところです。施設手数料という意味合いで

は、現在も単価は同じなので、そこについては大きく協議はされておりません。
委員長（文野慎治君）田中委員。
委員（田中圭介君）ということは、今あれキロでやっているんですよね。それのキロの単価というのは、向こうの組合と熊取町では今のところ一緒ですかね。
委員長（文野慎治君）中川環境センター所長。
環境センター所長（中川昌美君）処理単価としては同じで、初めの入ってくる金額、組合のほうでは初めに55キロまでが550円、環境センターでは30キロまでが300円という形で進んでおります。そこから増える金額につきましては同じなので、手数料とは同じものになっています。
委員長（文野慎治君）田中委員。
委員（田中圭介君）ということは、その最低300円と550円ですかね、そこは統一ということじゃない。
委員長（文野慎治君）中川環境センター所長。
環境センター所長（中川昌美君）先ほど議員のおっしゃられました初めの分につきましては、この先協議を進めていく予定になっておりますが、今のところそこまではちょっと話が進んでいません。
委員長（文野慎治君）田中委員。
委員（田中圭介君）ぜひとも、低いほうで話を通していただけるよう頑張っていただきたいと思います。
委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。以上で質疑を終わります。

これをもって、案件１、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件を終了いたします。

委員長（文野慎治君）以上で、本日の案件は全て終了いたしました。

その他、何かご報告等があれば承ります。何かございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、これをもって環境施設広域化調査特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

（「15時27分」閉会）

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

環境施設広域化調査特別委員会委員長　　文野慎治